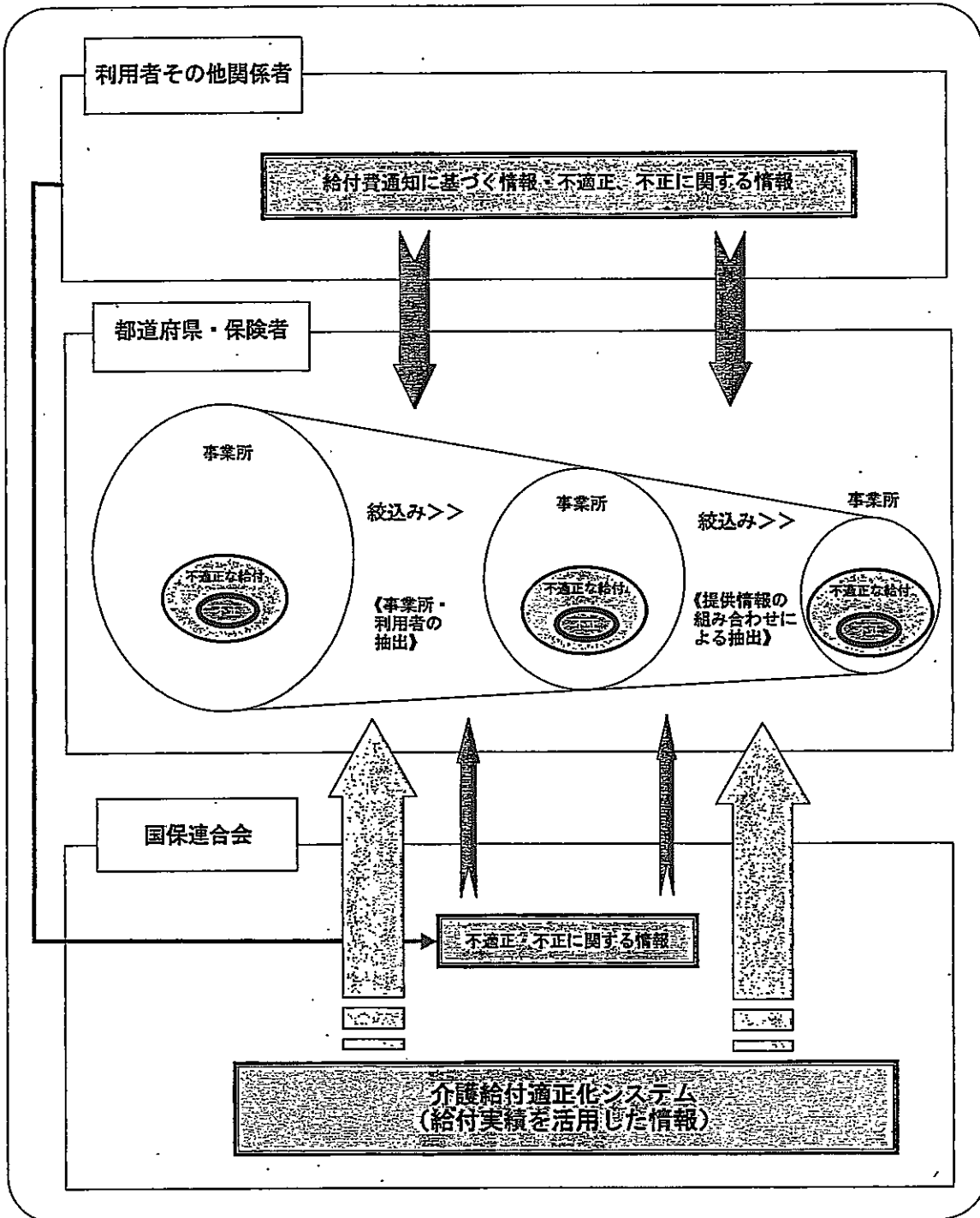


国保連合会における介護給付適正化対策への支援

- 保険者等が実施する介護給付適正化対策への支援を行う観点から、国保連においては保有する給付実績データから給付適正化に活用できる情報を提供するシステムを本年2月より稼働させている。

《事業概要》



《国保連合会介護給付適正化システムの概要》

提供情報の概要

給付実績を活用した情報

- 更新認定及び区分変更がなされた被保険者の状況把握
(更新認定等における要介護度の変化とサービス利用状況の関連)
- 給付費の請求状況と事業所の体制把握
(ヘルパー1人あたり実労働時間が多すぎないか 等)
- 画一的なサービス提供の把握
(作成されたケアプランが認定者いかににかかわらず画一的でないか 等)
- サービス提供の偏りの把握
(事業所ごとの受給者がいずれかの要介護度に偏っていないか 等)
- 支援事業所とサービス事業所の関係把握
(ケアプランが同一法人の事業所のために作成されていないか 等)
- 事業所の請求等決定状況の把握
(ケアマネジャーはサービス提供後に確認を行って作成すべき給付管理票を審査決定後に修正する件数が多すぎないか 等)

医療情報との突合情報

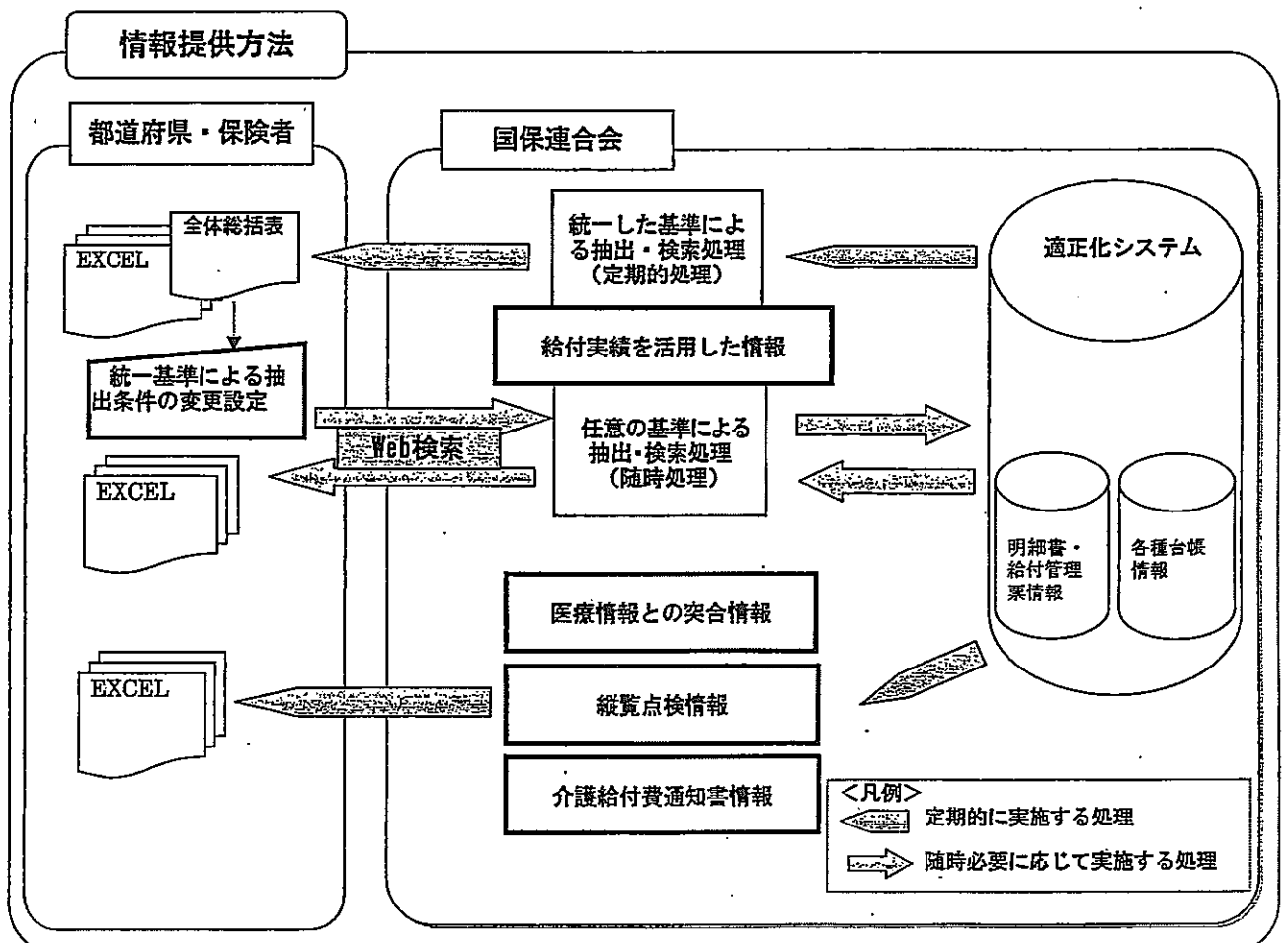
- 介護給付と医療給付の整合性の確認

縦覧点検情報

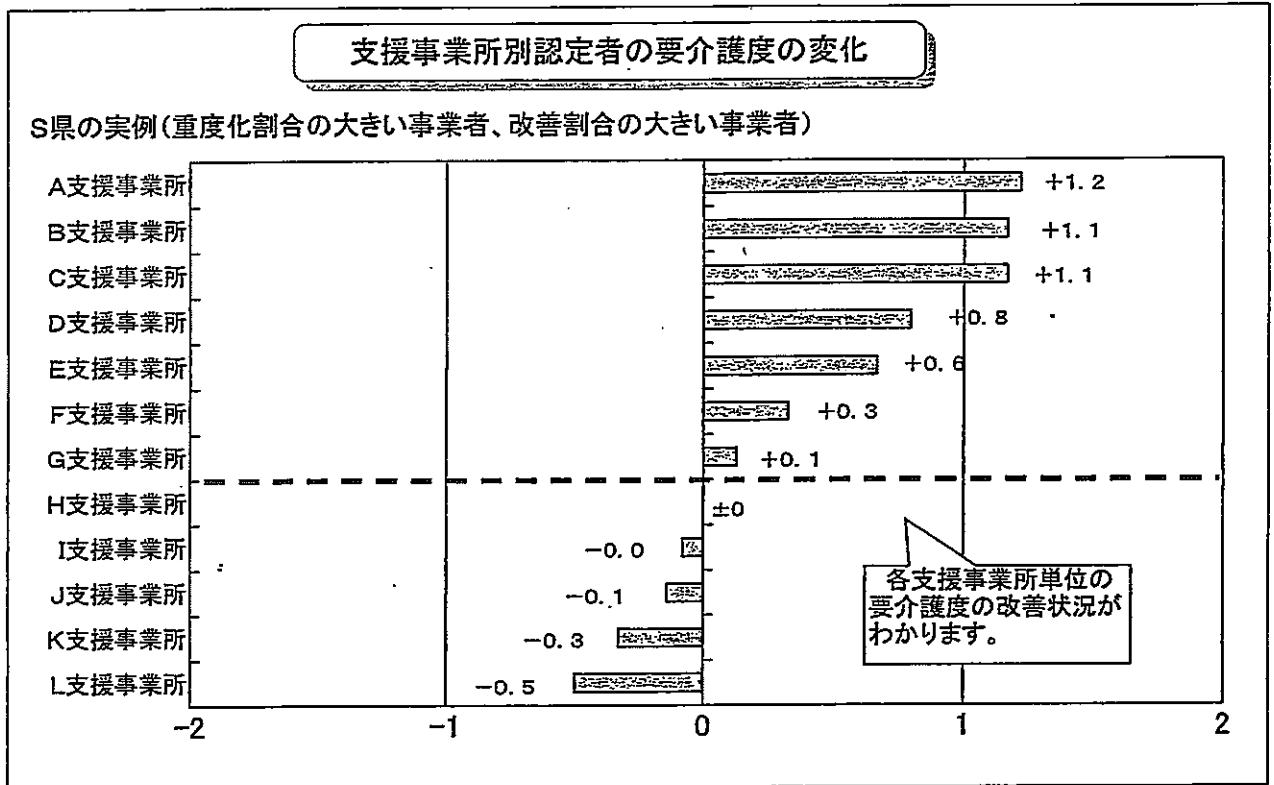
- 複数月の明細書における算定回数の確認
- サービス間・事業所間の整合性の確認 等

介護給付費通知書情報

情報提供方法

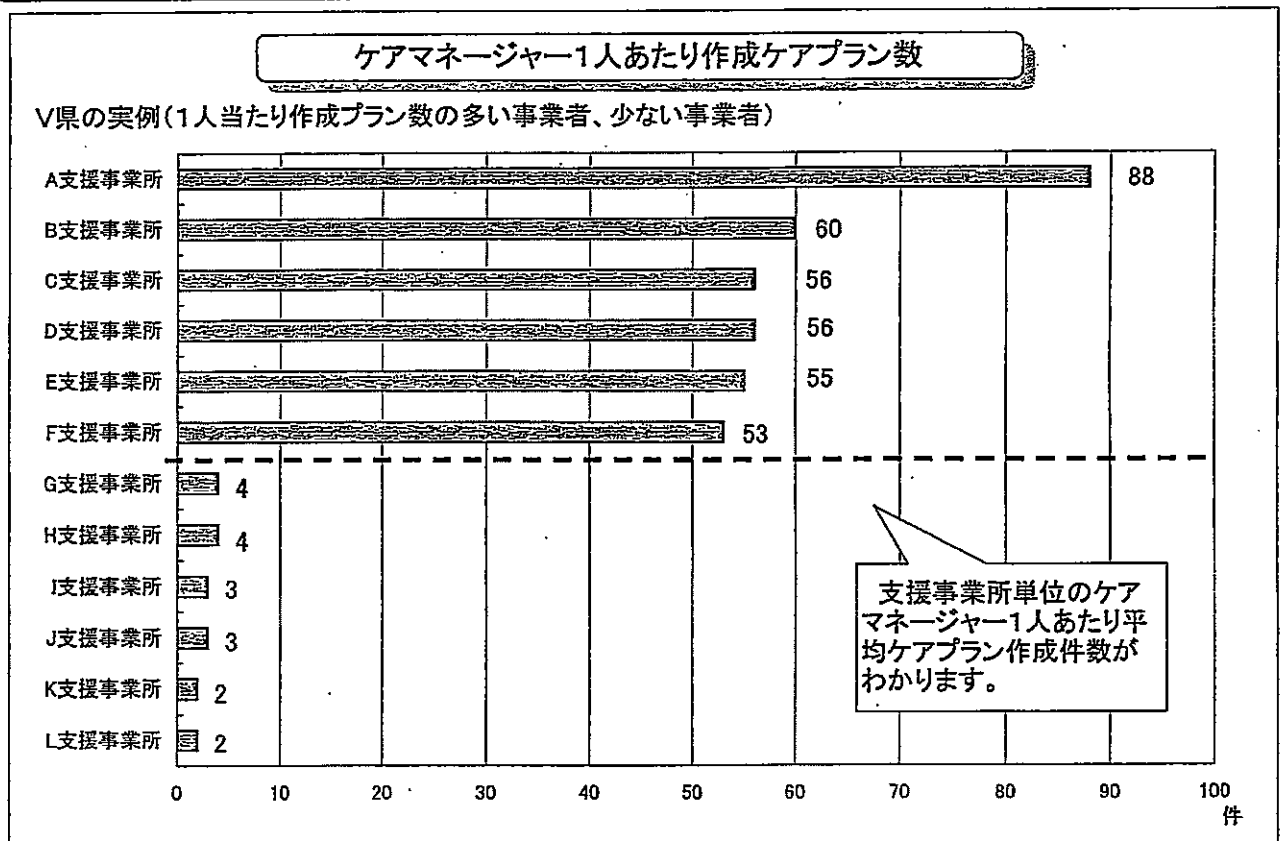


適正化システムでこんなことがわかります ①

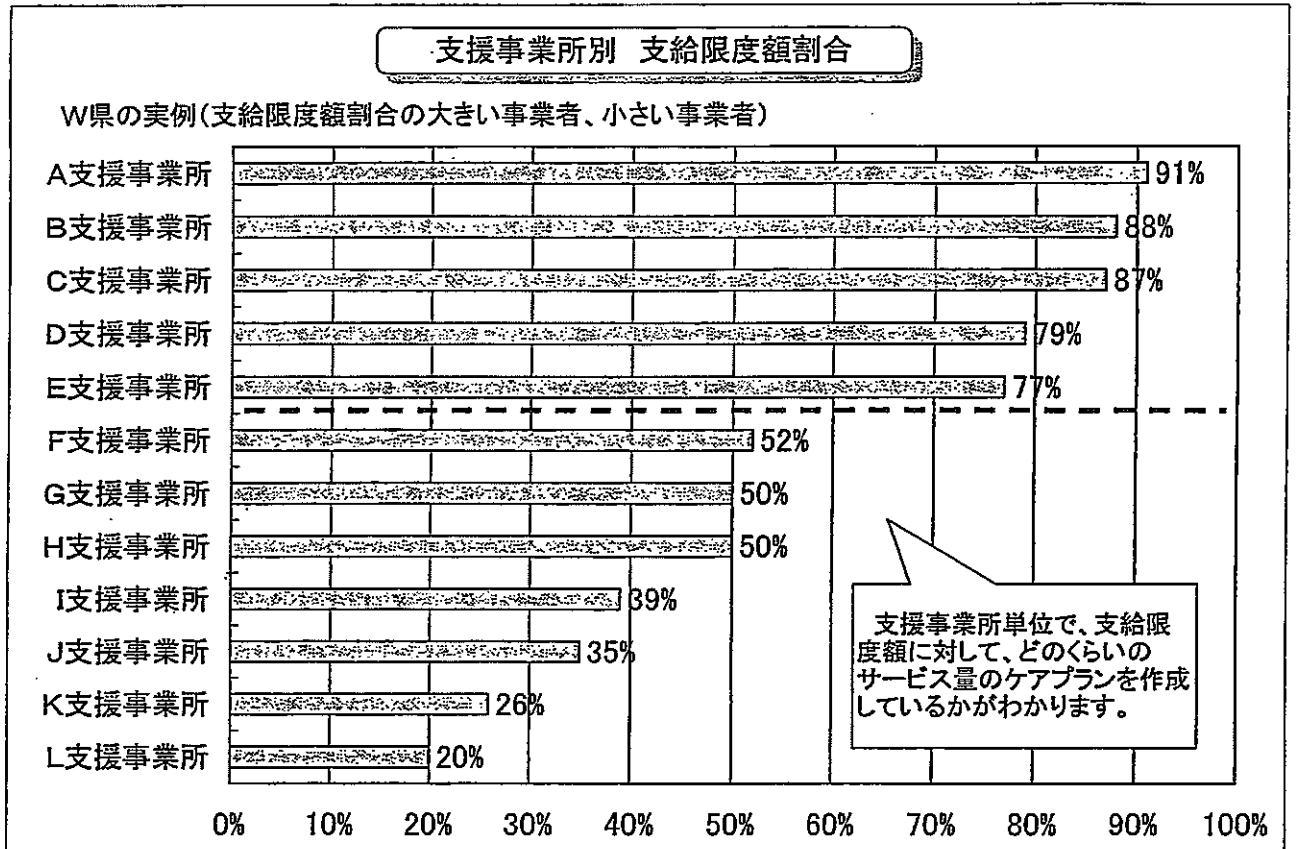


(注) 居宅サービスの要介護度が1つ重くなったケースを(+1)、一つ軽くなったケースを(-1)として、各ケアマネ事業者の平均値を算出したもの。

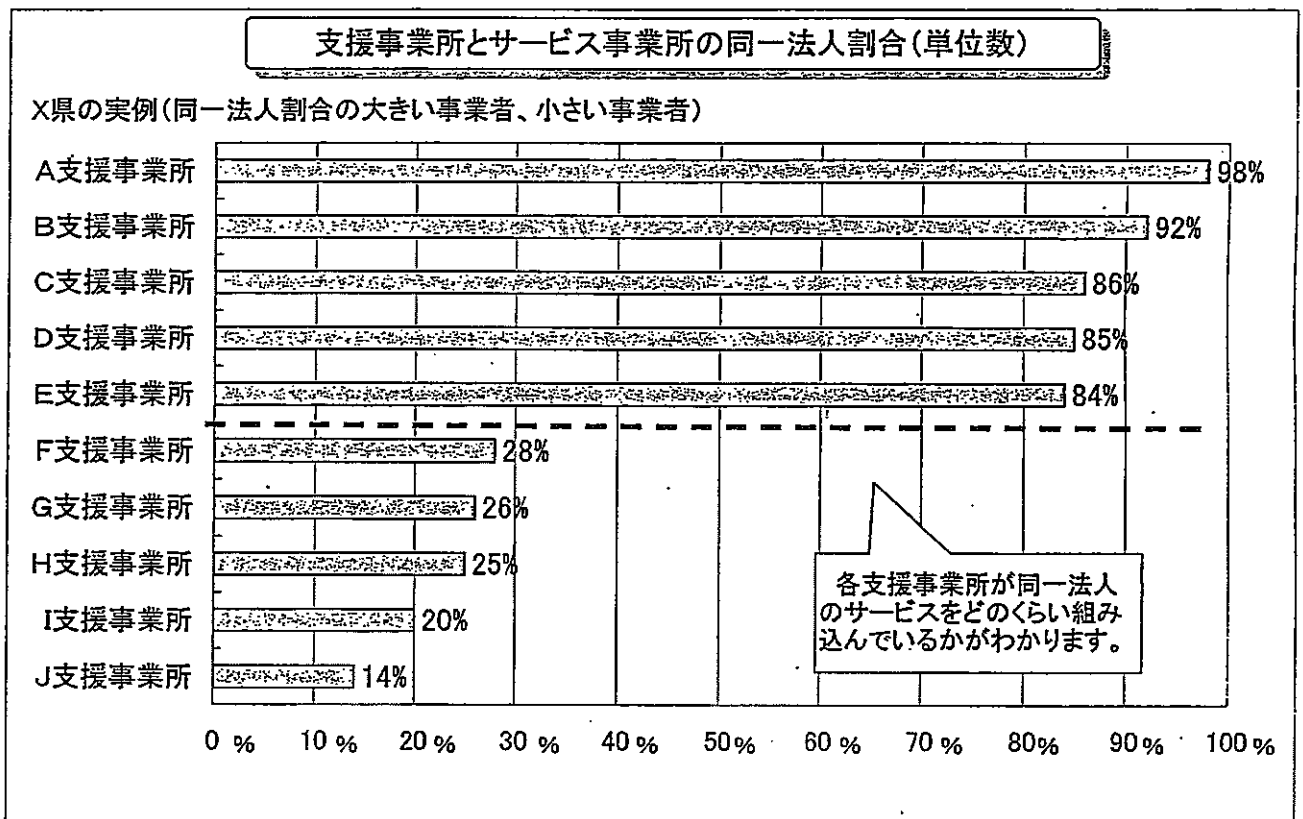
適正化システムでこんなことがわかります ②



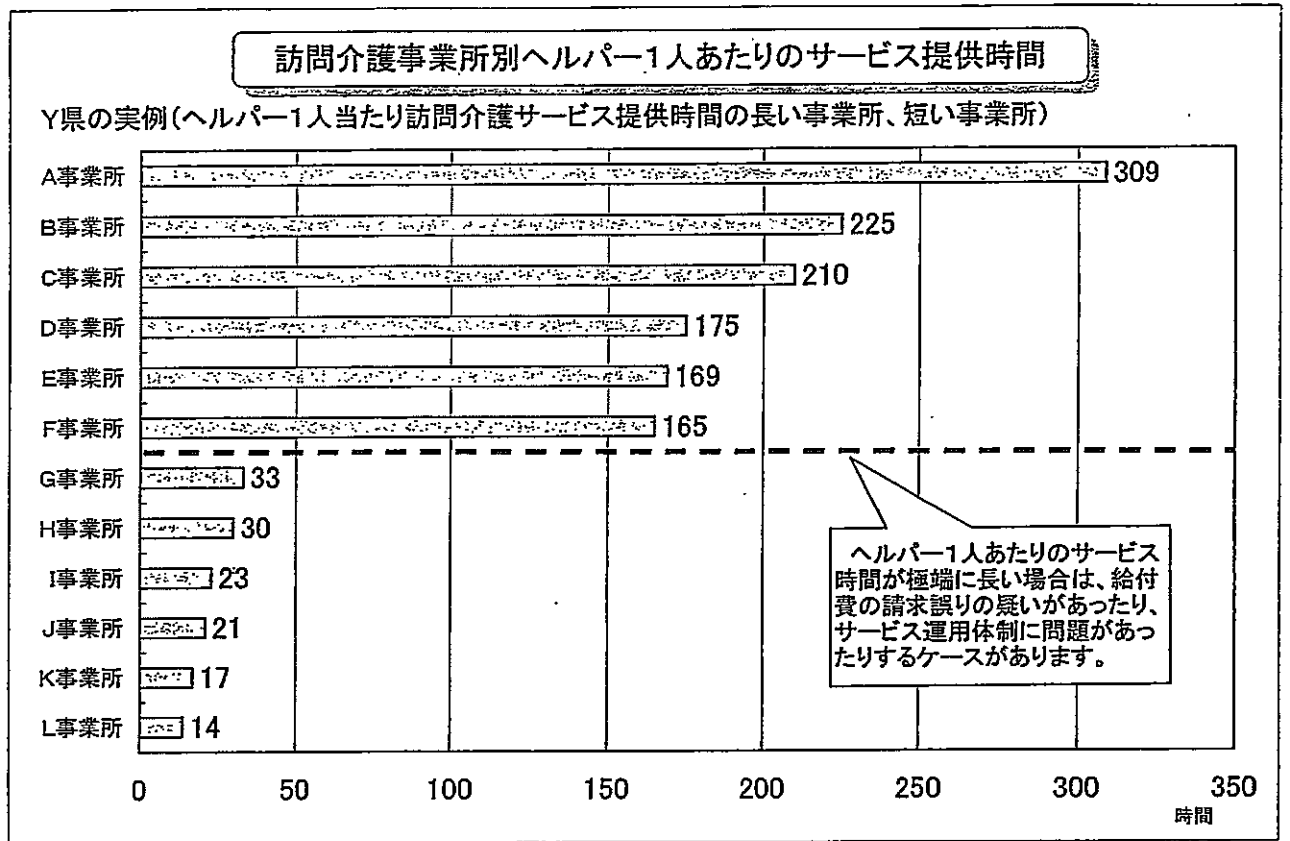
適正化システムでこんなことがわかります ③



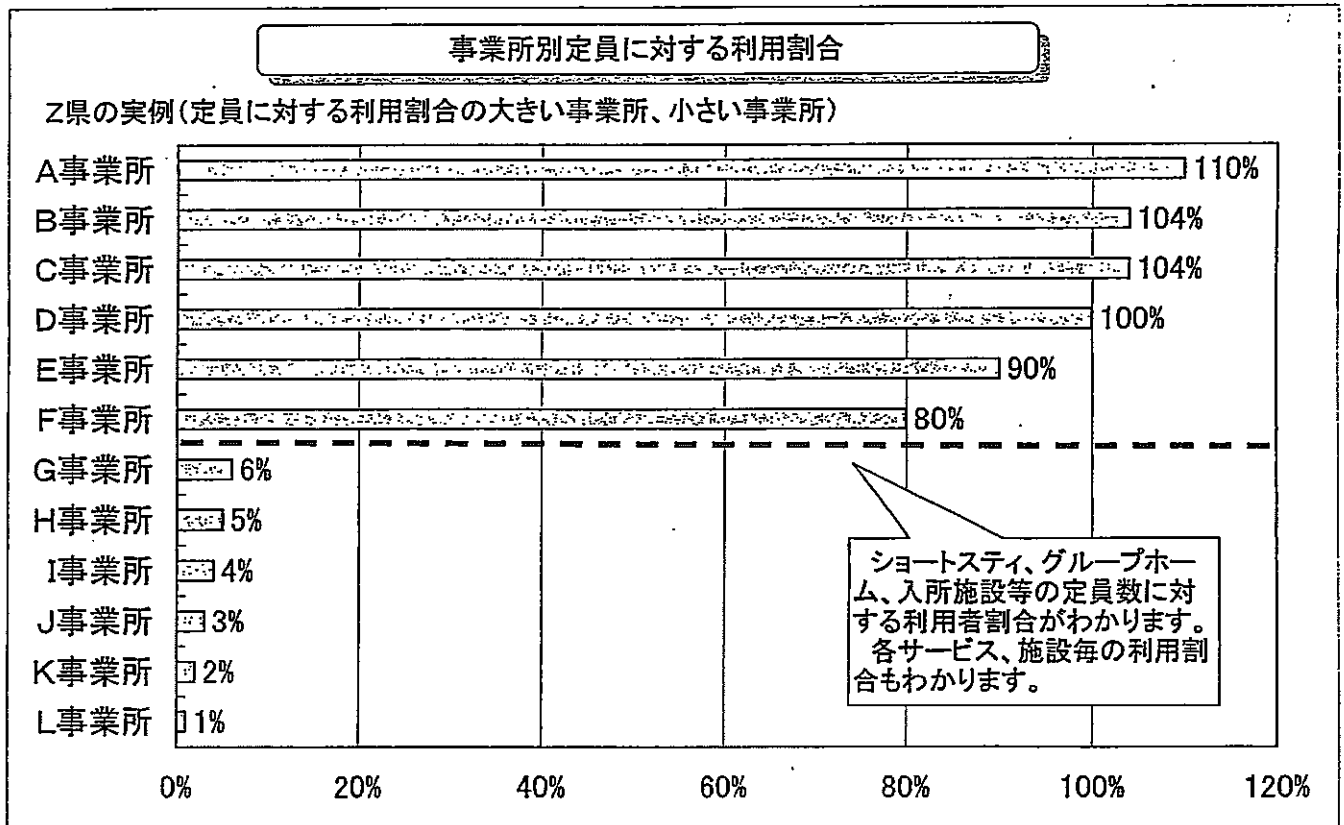
適正化システムでこんなことがわかります ④



適正化システムでこんなことがわかります ⑤



適正化システムでこんなことがわかります ⑥



介護給付適正化システムにおける介護給付費通知書作成の流れ

